

中央材料部

1. スタッフ構成(2025年3月時点)

○岡山 英樹(副院長、中央材料部長)

<手術室>

○渡部 早人(手術部看護長)、中岡 由貴恵、大下 麻希、
今井 幹也

○協力企業:28名

【有資格者】

- ・ 第1種滅菌技師資格者:1名
- ・ 第2種滅菌技師資格者:1名
- ・ 滅菌消毒業務受託責任者資格者:3名
- ・ 滅菌管理士資格者:3名
- ・ 第一種圧力容器取扱作業主任者資格者:1名
- ・ 特定化学物質等作業主任者資格者:2名
- ・ 第一種衛生管理者資格者:1名

2. 認定資格取得(2025年3月時点)

資格名	資格取得者
日本看護協会手術看護認定看護師	渡部早人、今井幹也

3. 運営方針

- (1) 院内で発生する汚染器械を中央材料部で一元的に洗浄・滅菌・消毒を行います。
- (2) 安全かつ効率的な管理運営ができる手術器械・診療材料管理のシステムを確立します。
- (3) 手術室、救急処置室および病棟を中心に各部門との連携を図ります。

4. 実績

<業務概要>

- (1) 院内・各部門における使用済み再生滅菌器械の回収
- (2) 回収した再生滅菌器械の分別・洗浄
- (3) 洗浄・乾燥した再生滅菌器械の組立・包装および点検
- (4) 組立・包装した再生滅菌器械の分別・滅菌
- (5) 滅菌した再生滅菌器械を判定し、保管または払出準備
- (6) 各部門の定数に併せた再生滅菌器械の供給
- (7) 術間・術後清掃、関連諸室環境整備、手術器械ピッキング、検体搬送
- (8) 業者持ち込み器材の洗浄、包装、滅菌、供給
- (9) 滅菌期限管理・適正数量の提案業務
- (10) 電子カルテマスタ更新作業(術式との器械紐付け)
- (11) 時間外労働時間削減に向けた協議

<活動内容>

- (1) 高圧蒸気滅菌器における更新後の安定稼働を目的とした打ち合わせを実施しました。
- (2) 手術セット器械の未滅菌化に因るコスト削減および人的労力削減を行いました。

- (3) 清潔/不潔作業の切り替え頻度減少における個人防護具着脱の時間短縮およびコスト削減を実施しました。
- (4) 業者持ち込み器械受け渡し漏れ防止を目的とし、「業者器械における受け渡し記録」を基にディーラー/協力企業にて包装単位で員数の双方確認を実施しました。
- (5) アプリ(緊急連絡網)を活用し、災害時を想定した安否確認訓練を実施しました。(協力企業職員のみ)
- (6) 毎月のモニタリングにて評価を行い、改善事項の抽出および是正ができていたと評価できます。
- (7) 落下に因る器械の破損リスクの低減を目的とし、緊急棚に保管するセット器械の配置変更を実施しました。
- (8) 業者持ち込み器械における作業時間短縮を目的とし、滅菌コンテナの購入提案を実施しました。購入後に作業時間を計りました。
- (9) 組立室に於いて、処理を実施する手術セット器械を選別する時間を短縮することを目的とし、洗浄実施時に優先順位の高い手術セット器械に目印(シリコン札)を装着しました。優先順位の高い手術セット器械の保管場所を定め、運用を実施しました。
- (10) 滅菌消毒業務手順書に基づいた業務遂行が実施できました。業務手順書にない業務は協議を実施し、業務区分の決定および業務手順書の改訂を実施しました。

■ 滅菌実施件数

	AC 回数	EOG 回数	PZ 回数
1 月	304	19	194
2 月	319	24	213
3 月	301	20	225
4 月	329	24	232
5 月	313	22	227
6 月	291	22	220
7 月	307	26	232
8 月	290	25	209
9 月	262	22	196
10 月	287	22	206
11 月	281	23	202
12 月	280	22	194
合計	3,564	271	2,550
月平均	297.0	22.6	212.5

5. 2025年度目標

- (1) 物品管理委員会の下部組織である中央材料部専門部会にて、中央材料部における問題点の抽出および改善活動を実施します。→開催頻度については、原則 1 回/2 か月の頻度で開催します。
- (2) 手術室および中央材料部業務における作業手順書について、現行の内容を基に病院職員中央材料部責任者と滅菌消毒業務受託事業者間で協議および改訂を実施します。
- (3) 中央材料部洗浄室廊下にて保管している予備器械について、病院職員中央材料部責任者協力のもと、整理整頓を実施します。また、予備器械定数管理表を作成し、緊急必要時

の対応や購入費削減に貢献します。

- (4) 前年度集計した手術器材取り揃え時における不足器材/当日使い回し器材/滅菌有効期限切迫に伴う再処理器材の実績(名称/数量)を基に、器材適正定数の提案を実施します。
- (5) 作業動線およびハード面(保管棚/作業台/カート等)の見直しを実施し、業務効率化を図ります。
- (6) 手術器械処理量増加および時間外労働時間削減を目的とし、オールラウンダー枠の設定・選任・育成開始を実施します。